

2022 年度

(2022 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日まで)

事業報告

公益財団法人 新日本先進医療研究財団

第1 事業の状況

今年度の事業は、がん及び生活習慣病に関する先進医療研究分野に関する研究者及び研究機関に対して助成金を贈呈する為、令和4年度第8回助成金応募を7月より行い、同年12月に26名の受賞者を決定した。なお、今年度は「がん」及び「新型コロナウイルス感染症」に関する研究、助成金額を1件あたり100万円～200万円、総額3,000万円20名程度の予定だったが、今年度は、上位者点数が高く、かなり拮抗した状況の為、予定助成金額を400万円増額し、26名、総額3,400万円の助成を決定した。

第2 事業の成果

1. 助成金の交付

がん及び生活習慣病に関する先進医療分野の研究者及び研究機関に対し、研究助成金を交付。

(1) 助成対象

がん及び生活習慣病に関する先進的な研究の、国内において従事する研究者または研究機関が行う研究で、その成果ががん及び生活習慣病研究の進歩、発展に著しく貢献すると考えられるもの。

なお、昨年引き続き令和4年度は「がん」及び「新型コロナウイルス感染症」に関する研究に限定した。

(2) 助成金額

1件あたり100～200万円を上限として支給

(3) 令和4年度助成金受賞者

公益財団法人 新日本先進医療研究財団 令和4年度（第8回）研究助成金受賞者

【がん関連研究】

氏名	所属機関	研究題目
伊東 守	九州大学病院 遺伝子・細胞療法部	癌の繊維化をもたらすマイクロファージを制御する治療標的の探索
岩崎 健	九州大学 大学院医学研究院 形態機能病理	メルケル細胞癌の腫瘍微小環境内のメタボロインタラクトームを標的とした新規治療戦略の確立
梅本 晃正	熊本大学国際先端医学研究機構	クロマチン動態に基づいた正常および骨髄異型性症候群 (MDS)造血幹細胞のトロンボポエチン応答
勝木 陽子	九州大学大学院薬学研究院・医薬細胞生化学分野	DNA-タンパク質複合体衝突によって誘導される複製ストレス応答における DNA 修復因子 SLX4 の局在制御を司る分子経路の解明
菊繁 吉謙	九州大学病院 遺伝子細胞療法部	スフィンゴシン 1 リン酸シグナル経路を標的としたヒト白血病幹細胞の治療抵抗性克服戦略の構築
菊地 一史	九州大学病院・放射線科	AI-CS-VISIBLE 法による正確で負担の少ない転移性脳腫瘍診断と高精度定位放射線治療の確立
佐々木 謙介	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	nCounter システムを用いた Ph-like ALL の新規診断法の開発
千場 隆	熊本大学 国際先端医学研究機構	JNK シグナルを標的とした腫瘍微小環境の抗腫瘍免疫活性化戦略
田中 洋介	熊本大学 国際先端医学研究機構 幹細胞制御研究室	造血幹細胞と白血病幹細胞における細胞内カルシウム動態の理解と創薬への応用
富田 雄介	熊本大学病院 呼吸器内科	抗腫瘍効果を発揮する酪酸菌の免疫学的作用機序の解明と新たながん治療法の開発

野島 孝之	九州大学・生体防御医学研究所	スプライシング阻害が引き起こす未成熟転写終結機構とそれ由来非コード RNA 代謝物の細胞機能の解明
畠山 究	九州大学病院 救命救急センター	固形腫瘍における、TET2 クローナル造血とがん療関連心機能障害の関連解析
稗田 道成	九州大学病院 第一内科 血液・腫瘍・心血管内科	ビッグデータを用いた免疫チェックポイント阻害薬の心血管疾患への有害事象とその危険因子の解明
比嘉 那優大	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経外科	機械学習を用いたゲノム・エピゲノム解析に基づくグリオーマの診断・予後バイオマーカーの創出と個別化医療への基盤構築
藤井 慎介	九州大学大学院歯学研究院 口腔顎顔面病態学講座・口腔病理学分野	シングルセル RNA-seq 解析を用いた口腔腫瘍における間質由来破骨細胞形成因子(SODF)の同定
藤本 昂也	山口大学大学院医学系研究科 放射線腫瘍学講座	腫瘍の硬度イメージングを用いた頭頸部放射線治療の患者個別化支援システムの開発
水内 祐介	九州大学 臨床・腫瘍外科	免疫抑制モデルとしての腎臓移植後大腸癌における Immuno-Oncology-Microbiome axis に着目した腫瘍内細菌を標的とした新規治療の開発
宮田 喜代子	九州大学大学院医学研究院・プレシジョン医療学	Bc12 阻害剤治療抵抗性 AML における新規薬剤併用療法の開発
安河内 友世	九州大学大学院歯学研究院 OBT 研究センター	胎内栄養環境による NASH 発癌素因形成の分子基盤
山田 純	九州大学 大学院医学研究院 神経解剖学分野	PV ニューロンと糖質のリモデリングに着目したがんリハビリテーションに関する基礎研究
吉田 遼司	熊本大学大学院 生命科学研究部 歯科口腔外科学講座	腫瘍溶解ウイルスを用いた放射線耐性がんに対する革新的治療法の開発

【新型コロナウイルス関連研究】

池亀 聡	九州大学病院 呼吸器科	オミクロン株を中心とした新型コロナウイルス変異株のワクチン耐性の分子学的機序の解明
岩野 智	宮崎大学 テニユアトラック推進室	コロナウイルスの感染動態を読み解く生物発光イメージング技術の開発
後藤 健志	九州大学 免疫・膠原病・感染症内科	SARS-CoV2 の各種 Variant におけるウイルススパイクに対する抗体価と中和活性の関連についての検討
松本 健司	鹿児島大学大学院理工学研究科 工学専攻化学生命工学プログラム	次世代 AI 創薬による新型コロナウイルス感染症治療薬の開発
米川 晶子	九州大学病院 グローバル感染症センター	新型コロナウイルスワクチン BNT162b2 mRNA による自己免疫応答誘導性の検討